



佐藤 稔 議員



### 「家賃補助付きセーフティネット住宅制度」の導入について

**問** 市民への居住支援の強化として、住居確保の難しい世帯を対象とした、「家賃補助付きセーフティネット住宅制度」(\*)の導入を提案するが市の考えを伺う。

**答 (都市建設部長)** 本制度は、対象となる物件登録がなく、運用体制が整備されていないため、活用していない。制度の効果的な活用について検討していきたい。

\*家賃補助付きセーフティネット住宅制度…セーフティネット住宅として登録された住宅のうち、一定の要件を満たす住宅に対し、自治体がか賃等の補助を行う制度

### 「糖尿病リスク予測ツール」の導入について

**問** 医療費削減への取り組みとして、糖尿病の重症化予防を目的に「リスク予測ツール」の導入を提案するが市の考えを伺う。

**答 (健康推進部長)** 市民が自身の健康管理に関心を持つきっかけとなり得る有効なツールと思われる、市ホームページ等への掲載に向け準備を進めていきたい。

### 「街路樹の根上がり対策」について

**問** 街路樹の根上がりによる歩道等の隆起は、通行の安全確保の観点から早急な対策が求められるが、今後の整備計画について市の考えを伺う。

**答 (都市建設部長)** 早期修繕が図れるよう歩道の再整備計画を策定し、良好な景観形成に配慮しながら安全な歩道維持に努めていきたい。

**答 (教育部長)** 中央運動公園ふれあい広場の根上がりは、今年度内に樹木の伐採等を行い、整地・舗装をする予定である。今後は、再発防止等を検討しながら、早期に予算化し、安心できる環境を整えるよう進めていく。



「イーエスはなもも体育館」歩道の街路樹



阿久津 佳子 議員



### 重層的支援体制構築について

**問** ①法的サービス等でまかなえない支援対象者のはざまニーズ(可視化できている・表出していない個別事例)の実態捕捉はどのように行うのか。②国・行政・企業・NPO団体等・その他セクターの垣根を越えた協働、新しい発想、ネットワーク構築をはじめとするソーシャルイノベーションハブ(\*)、基盤確立や地域資源開発の必要性をどう考えるのか。③中間支援組織、

行政と地域力が結集した「助け合いサービス」の事業展開の初期段階において行政が先導し、その母体を支える支援体制や運営に伴走する体制が必要と考える。④庁舎内連携をどのように行うのか。以上、所見を伺う。

**答 (福祉部長)** ①各分野や既存制度のはざまにある者を対象とし、相談が最も多いひきこもりという表現を用いて、広報紙等で周知し、対象者の把握に努めている。また、庁舎の多部門が参集する重層的支援会議の中で、支援についても検討している。②重層的支援体制を今後より充実させていく上でも、大切な視点だと考えている。③母体を支える支援体制やプロジェクト運営に伴走する体制については、

市による支援だけでなく、生活困窮者支援プラットフォームに参加する法人に、ネットワークと団体支援のキーパーソンになってもらえるよう調整を進めている。④隔月で実施している重層的支援会議で、各課がそれぞれ持つ対象者の情報の共有を図っている。また、庁内連携を図るために、電子@連絡帳というICT技術を用いた情報連携ツールも併せて活用している。



参加型支援「こども食堂」開催

\*ソーシャルイノベーションハブ…社会問題・課題を解決するための技術革新やビジネスモデルの変革を生み出す拠点や基盤